

上田安子服飾専門学校

学校関係者評価報告書

(平成24年度)

実施日＝平成25年12月14日

学校法人上田学園

上田安子服飾専門学校

## 学校法人上田学園 上田安子服飾専門学校 学校関係者評価報告書について

学校法人上田学園は、平成20年に、学校自己評価制度導入を図るために、自己点検部会を設立し、組織的な体制を築きました。その後、平成23年度より「学校自己評価報告書」を取りまとめ、平成24年6月、平成25年6月に本学園のホームページ上に公表いたしました。

また、平成25年度には、本校に関係の深い方々からご意見等を頂戴し、今後の学校運営に反映させ、改善を図るべく「学校関係者評価」を実施いたしました。学校関係者評価委員会では、第三者の視点に立った、多くの貴重なご意見、ご指導を賜り、改めて学校関係者評価の重要性を認識した次第です。ここに学校関係者評価の内容についてご報告いたします。

今後もより良い学校運営、教育活動を目指し、教職員一同尽力して参りますので、関係者の方々をはじめ皆様の、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

学校法人上田学園 理事長 上田哲也  
上田安子服飾専門学校 校長 三原道子

### 「学校関係者評価」の実施について

今回の学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえた評価項目に則し実施した「平成24年度学校自己評価報告書」に基づき、7名の学校関係者評価委員の方々に評価して頂きました。

各評価委員には、事前に「平成24年度学校自己評価報告書」を配布した上で、学校関係者評価委員会でご意見を頂戴しました。

その内容等について要約の上、以下のとおり報告いたします。

## 学校関係者評価委員会議事録

日時 平成 25 年 12 月 14 日（土）17 時～18 時 30 分

場所 上田安子服飾専門学校 6 1 教室

### 出席者

第 1 号委員（在学生保護者）	小林 清	ファッションビジネス学科学生保護者
第 2 号委員（企業関係者）	赤城 貴久	株式会社ワールド・ビジネス・ブレイン店舗強化グループ長
第 3 号委員（卒業生）	荒木 勸嗣	株式会社absolute 専務取締役
第 4 号委員（高校関係者）	大石 勝	大阪市立泉尾工業高校ファッション工学科科長
第 5 号委員（地域関係者）	三島 保	大阪市北区商店会総連合会副会長
第 6 号委員（学校運営有識者）	池田 知隆	元大阪市教育委員長
第 7 号委員（校長）	三原 道子	上田安子服飾専門学校

事務方 教務部長	小西 祐司
” ファッションクリエイター学科長	山田 浩之
” ファッションビジネス、ファッションビジネスマネジメント学科長	東山 幹子
” ファッション工芸デザイン学科長	福田 新之助
” ファッションプロデュース学科長	尾崎 光恵
” 事務統括	門田 久幸
” 学生部長	金森 晋一（代理）

### 議事録

1. 司会が開会を宣言し、委員全員が出席しており委員会規程第 7 条により委員会が成立していることを報告。
2. 委員長の選出を行った結果、三島委員が全会一致で選出された。
3. 事務方より別添資料 4 に基づき本委員会開催の経過を説明。委員からの質疑はなかった。
4. 事務方より別添資料 3-1、資料 3-2 に基づきガイドラインの項目に沿って自己評価報告書を説明。
5. 委員からの意見は以下の通り。

#### 基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

- ・ 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているかの点  
→学校の理念・将来構想等が、学生・関係業界・保護者などに周知がなされているかの点に対し、現状は入学時の説明会および保護者説明会やパンフレットでの広報、入学後は学園サイトでの広報のみにとどまっている。このままではとくに保護者に対する広報が不十分との意見により、別のかたちでも発信していくべく検討する。
- ・ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているかの点  
→25 年度に設置した教育課程編成委員会の意見を受けた教員会議で議論し、カリキュラム策定に活用する。

## 基準2 学校運営

- ・学校の運営方針・事業計画・運営組織や意思決定機能・人事や賃金での処遇に関する制度・意思決定システム・情報システム化等による業務の効率化については良好の評価を得た。

## 基準3 教育活動

- ・各学科の教育目標、人材育成像は、その学科に対応する業界のニーズに向けて正しく方向付けられているか、また各学科の教育目標、人材育成像を構成する知識、技術、人間性等は、業界のニーズレベルに照らし、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているかの点  
→25年度に設置した教育課程編成委員会の意見を受けた教員会議で議論し、カリキュラム策定に活用する。また、関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているかについて、企業への依頼等の件数が未だ不十分ではとの意見が出された。現状を教務部で整理し改善していく。
- ・カリキュラムは体系的に編成されているか、授業評価の実施体制、教員要件、成績評価基準、資格取得の体制、地域社会との連携を活かした教育活動などの点においては良好の評価を得た。

## 基準4 教育成果

- ・就職率（卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率）の向上が図られているかの点  
→就職率の向上に向けては業界の構造変化に対応できるよう各学科の到達目標を設定する必要があり、教育課程編成委員会等で業界のニーズを把握し担当者で協議しながら教育課程編成をすすめる。
- ・卒業生・在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているかの点  
→卒業生支援体制については現状、ほとんど同窓会での情報収集にとどまっており、卒業生の就職定着率について調査することが今後の課題である。
- ・資格取得率の向上、退学率の低減が図られているかの点については良好の評価を得た。

## 基準5 学生支援

- ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備就職・進学指導に関する体制、学生相談に関する体制、学生の経済的支援、学生の健康管理、学生の生活環境への支援、保護者との連携の点については良好の評価を得た

## 基準6 教育環境

- ・学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているかの点  
→課外活動に対する支援体制については教務部、学生部が連携しての取り組みを強化していく方向。
- ・防災に対する体制については良好の評価を得た。

## 基準7 学生の募集と受け入れ

- ・企業からの委員による「海外市場に対応できる人材・なかでも海外からの留学生」を受け入れたいとの意見があり、現状の教育体制での対応について報告した。今後の課題として検討する。

- ・ 学生募集における教育成果の伝達、入学選考、学納金については良好の評価を得た。

#### 基準 8 財務

- ・ 学校の財務基盤、 予算・収支計画、 財務についての会計監査、財務情報公開の体制整備については良好の評価を得た。

#### 基準 9 法令等の遵守

- ・ 法令、設置基準等の遵守と適正な運営、個人情報保護、自己点検・自己評価の実施と問題点の改善、自己点検・自己評価結果の公開については良好の評価を得た。

#### 基準 10 社会貢献

- ・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているかの点  
→大阪市北区の活性化など地域と連携してすすめていく。
- ・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているかの点については良好の評価を得た。

6. 議事録の確認を委員長が行う旨の委員長提案が了承されたのち、委員長は委員会の終了を宣言した。

以上